ボランティア活動は「人と人の支えあい」。一人ひとりが自分に合ったスタイルで活動することができます

「私」にもできるボランティア活動

ボランティア活動と聞くと、「自分に何ができるのか」と難しく考えてしまう人もいると思います。しかし、自分の趣味や特技など、普段の生活の中でマイペースに無理なく活動ができるボランティアはたくさんあります。

皆さんは、社会のどんなことや人に関心があり、どんなことをしてみたいと考えていますか。「人と話をする」、「何かを教える」、「技術を生かす」など、自分のできること、やりたいことなど気持ちを整理し、活動の分野をイメージすることで、自分に合ったスタイルが見えてきます。

ボランティア活動のルール

一人ひとりの自由な意志により、自分から進んで行うボランティア活動ですが、そのボランティアにもルールがあります。それは、人の場合もあれば、地域などの場合もありますが、活動には必ず「相手」がいるということです。好き勝手にやるようでは、周りの人が困ってしまいます。

ボランティアは「恋愛」に似ているといわれます。相手が何を望んでいるのか、何を必要としているのか、常に考えながら活動することが大切です。

また、「やってあげる」という気持ちや姿勢は禁物です。ボランティアをする側がボランティアをされる側より上ということはありません。ボランティア活動は人と人との支えあいでなっており、活動を通して、相手から得ることも多いはずです。

活動の楽しさ

ボランティア活動を通し、さまざまな出会いがあります。例えばボランティア活動を一緒にする仲間に出会えることも活動の楽しみだと思います。また、出会う方は、経験の長短・年齢・男女の違いなどありますが、上下関係はなく、それぞれの考え方、価値観、立場をもって行動しています。

そういった、さまざまな考え方に触れることで、自分の視野を広げることができるのもボランティア活動の楽しさの一つではないでしょうか。

まずは行動を

ボランティアは仕事ではなく自発的な活動です。「頼まれるのを待つ」という受け身の姿勢ではなく、「今何をやればいいのか」を自分で考えて行動する必要があります。

「こんなボランティア活動をしてみたい」、「どんな団体があるのか知り、同じ考えを持った仲間とともに行動したい」という方は、ぜひ中野市社会福祉協議会までご連絡ください。

社会福祉法人
中野市社会福祉協議会
地域福祉係長
三原（みはら）　滋（しげる）さん

ボランティア活動を支える地域の拠点を紹介します

中野市社会福祉協議会事務局
（中野市福祉ふれあいセンター内）

問　☎（２６）３１１１
ファクス（２３）１６６２
住　　所：西条 70 番地１

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的に設置された福祉団体です。障がい者・高齢者・子どもたちなど、地域の皆さんが暮らしやすく、生き生きとした地域社会を作り上げていくことを目指しています。

ボランティアルーム「あんと」

問　☎（２３）１１７４　※ファクス兼用
住　　所：三好町一丁目６－ 29
開館時間：午前 10 時～午後５時

「あんと」はボランティアをしている皆さんの拠点です。

ボランティア活動をすでに行っている方、これからボランティア活動を行おうとしている団体または個人の方がご利用いただけます。

私たちが住んでいるのは 支え〝愛〟のまち「中野市」

写真解説）10月14日、中野市社会福祉協議会において、バラボランティアの皆さんが、心身障害者共同作業訓練施設の「竹馬」の皆さんなどと一緒に、秋バラ鑑賞会を行いました。バラに親しんでほしいと開催されたこの会では、施設の周りに見事に咲いたバラの色と香りを、参加者の皆さんが目と鼻で楽しんでいました。竹馬の皆さんはお礼を兼ね、日ごろから練習を重ねている和太鼓の演奏を行い、参加した全員が笑顔の絶えないひと時となりました。

一人ひとりの行動が地域全体を支えていく

今回お会いした皆さんからお話いただいた「私たちの方が勉強させていただいているんです」、「利用者や地域の皆さんの笑顔に力をもらっています」という言葉のとおり、誰一人として辛い表情をしている方はなく、活動している皆さんが受け手から元気をもらい、いきいきと活動されている姿が印象的でした。

最初はきっと「支えたい」と思って始めたことも、活動を通して自分の成長にもつながってくる―。

地域全体で一人ひとりが支えあっていることを知り、その素晴らしさを感じるとともに、自分の力を地域に生かしたいと思って行う活動には、地域を支える「愛」が溢れていると感じました。

あなたも、支え〝愛〟の気持ちで、ほんの少しお互いのために活動に参加してみませんか。

そこにはきっと、今まで見えてこなかった新しい世界が広がるとともに、より一層、素晴らしい中野市が作られていくはずです。

【特集】支えあいのまち　終わり